

サイエンスアゴラ2023に ブース出展しました

2023年11月18日（土）、19日（日）に、東京・お台場で開催された科学技術振興機構（JST）主催の科学技術イベントサイエンスアゴラ2023にブース出展しました。感染研のブースでは「“むし”から探る、人と動物と感染症のこと」と題した企画展示を行い、2日間で600名程度、特に親子連れの来場者などに多くご覧いただきました。



感染症に関係する“むし”をテーマとして、寄生虫の標本、蚊の生体、“むし”に関する情報提供パネルなどを展示し、身近な虫や食事から感染する可能性がある感染症について紹介しました。



昆虫医科学部と寄生動物部の研究員や大学生が標本や生体展示の解説を行い、そこに感染症危機管理研究センターのコミュニケーターも加わって来場者と対話を行いました。



地球温暖化が進行したり、人・モノの動きが活発になるなど、変化していく社会の中で感染症の流行状況も変化していきます。そのような状況の中で、病原体や媒介者となる“むし”とどのように付き合っていけばよいのでしょうか。はたまた、どのように付き合っていきたいのでしょうか。

来場者の皆様と、様々な視点からお話しをさせていただき貴重な機会となりました。

ブースにお立ち寄りいただいた皆様、どうもありがとうございました！

